



理奈

おへそ触らせてよ！

トドロキくん

またあ？

もお…いいけどお…

理奈、おへそ

え？

今日も…？

理奈…！

へそを…

ちよっ…

きつく

いじらない

で…！

理奈！

理奈…



理奈…



おはよう



なっ…

RESTAURANT NAVEL

なに..
こし.....





気分はどう?

ちよつと!
トドロキくん?
どういうこと?
なによこれ!

私...
確か...

理奈

今日は俺のおごりー！

えー！

いいの？

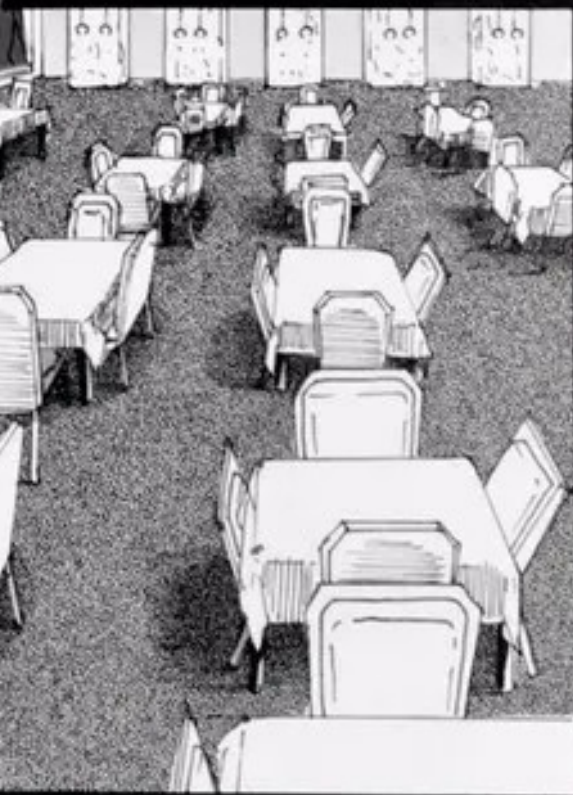
こんなに

高そうなの……

いいのいいの



ひろーい！
いい雰囲気ね……





ねえ、どう
いうこと？

私が…

料理って…

ふむ…

やはり
良いへそだ…

程よい肉付きに脂
色、ツヤ、キメ…
シワ、マメ、臭い…
形もふつくらとした
丸型…
ランク5は
間違いない…

へっ…？

ちゃんとした
自己紹介はまだ
だったな…

俺は…

パサ…

俺の名は

稲妻トドロキ

人間のフリをしていたが

ま、俗に言う「雷様」

ってやつさ…

上質なへそ肉を

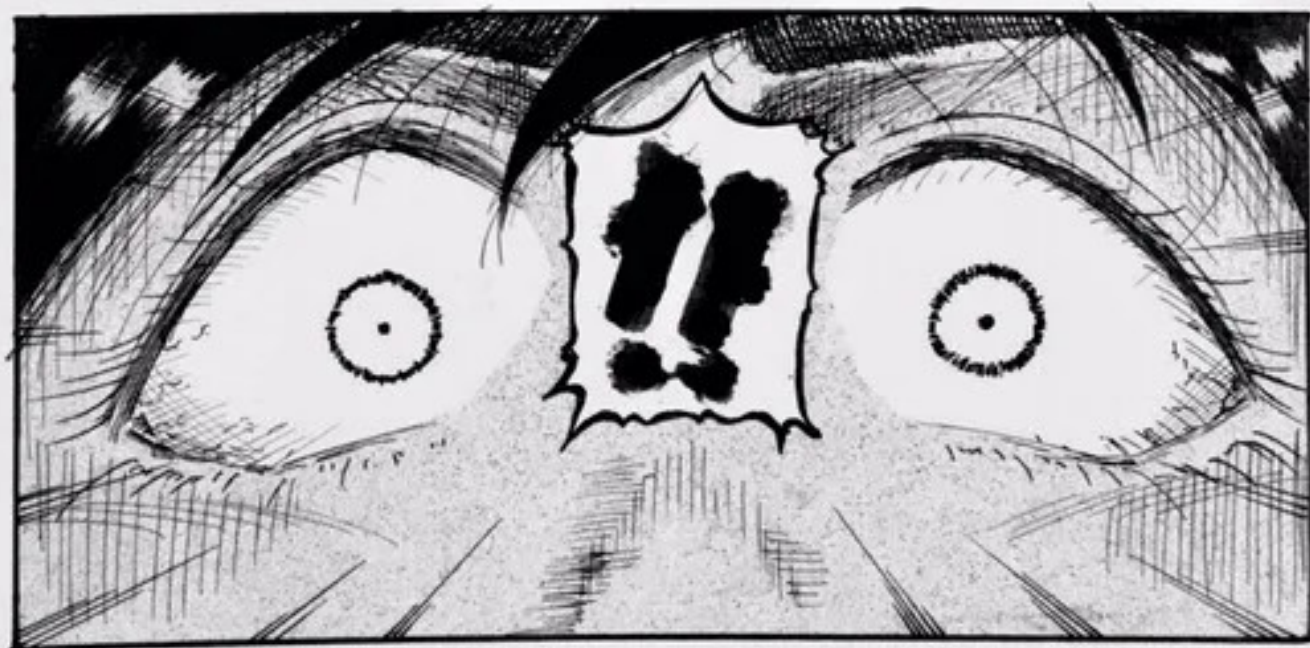
直接収穫し、

本当に美味なへそを

選りすぐってお客に提供する

こちらの世界の大手

レストランの代表をしている…



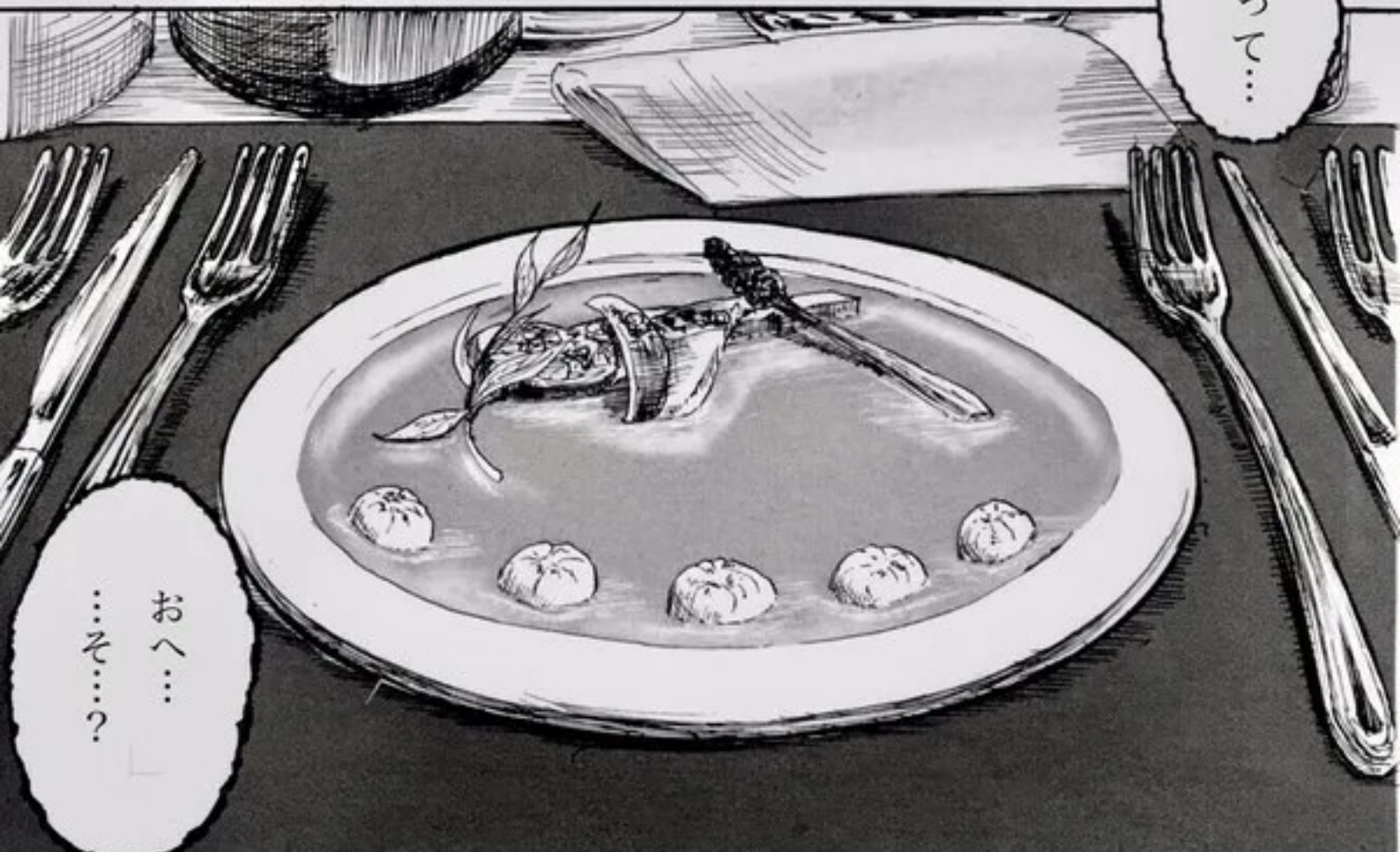




お待ち
いたしました



あれって...





生で



メインのへそは
どのように？

ん…
せつかくだし…



ぐぐぐ…

かしこまりました

ちよつ…
まっ…



ク

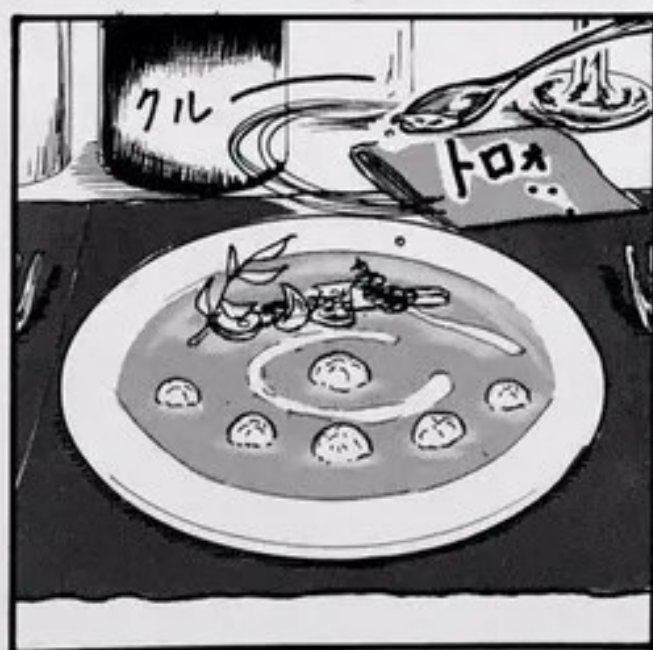
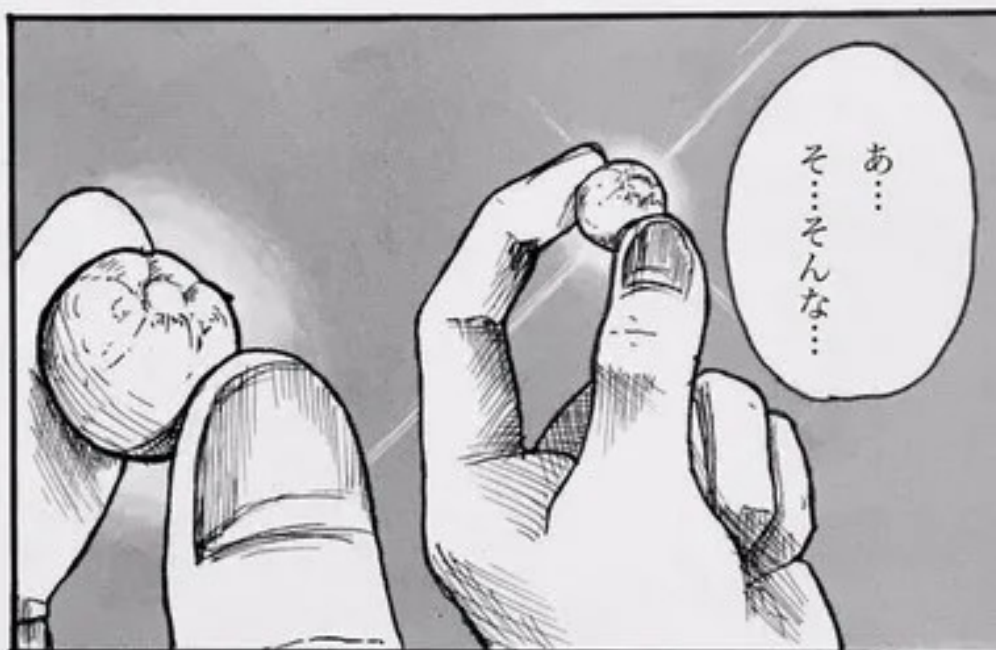
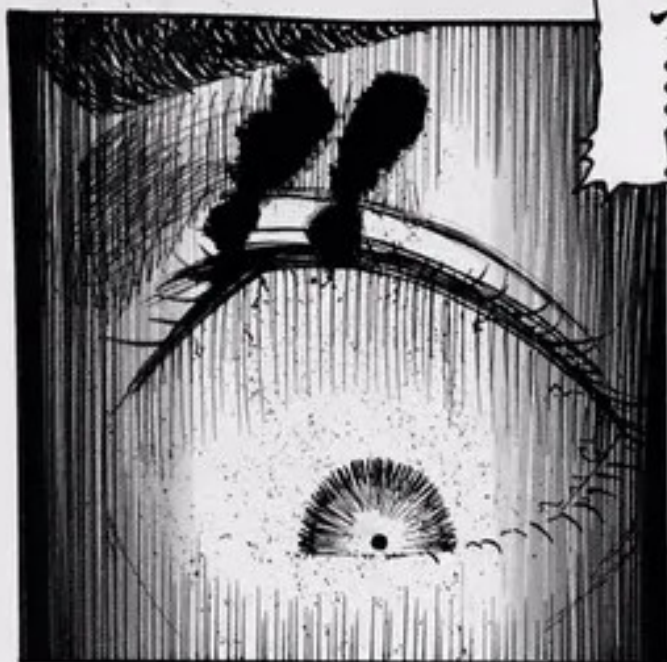
ニイ…



うそ…

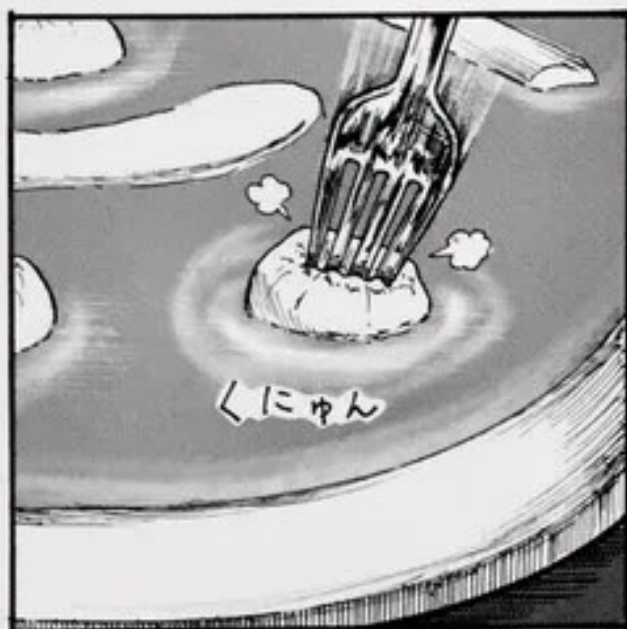
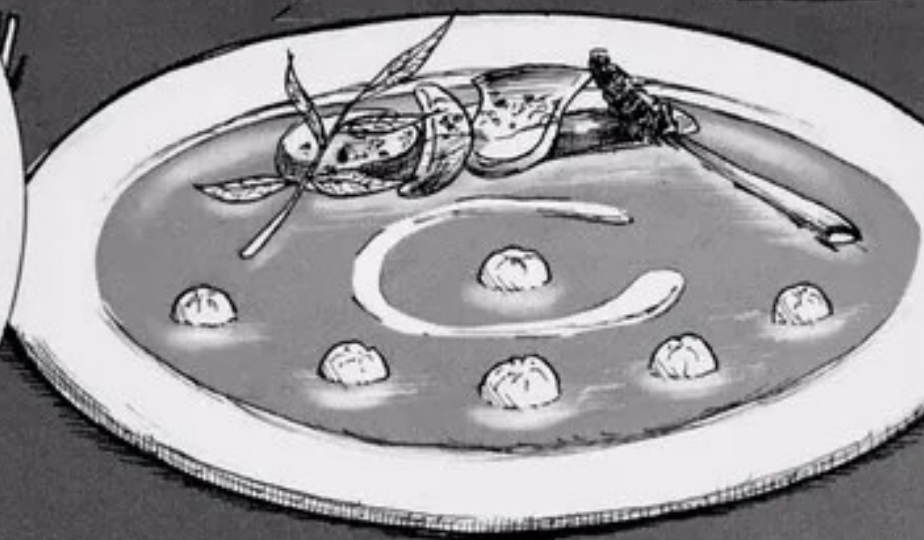
サ

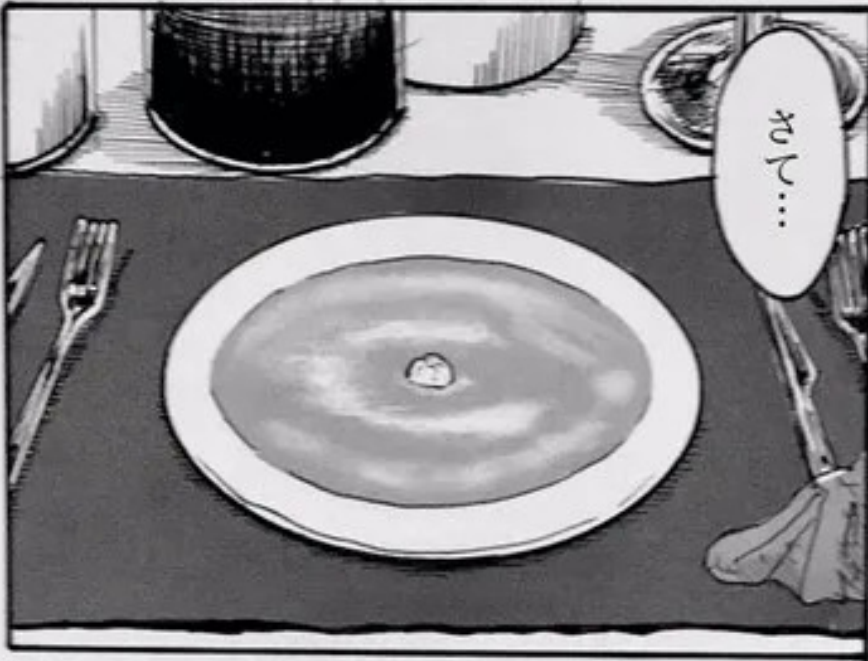
ッ



どうぞ
取れたてのへそを
たっぷり使い

生臍と臍のソテーを
トマトクリームに
合わせました







えっ…
なに…



彼が
咀嚼する度に…
スキスキ…

もぐ

もぐ



もう
そこにはないはずの
おへそ…



味も申し分ない…

お…へ…そ…



私の…

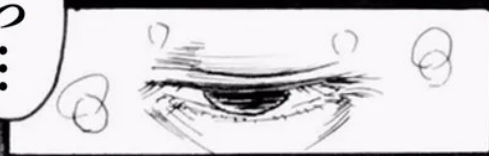
んん…
いい歯ごたえと
舌の上で解ける
滑らかさ…

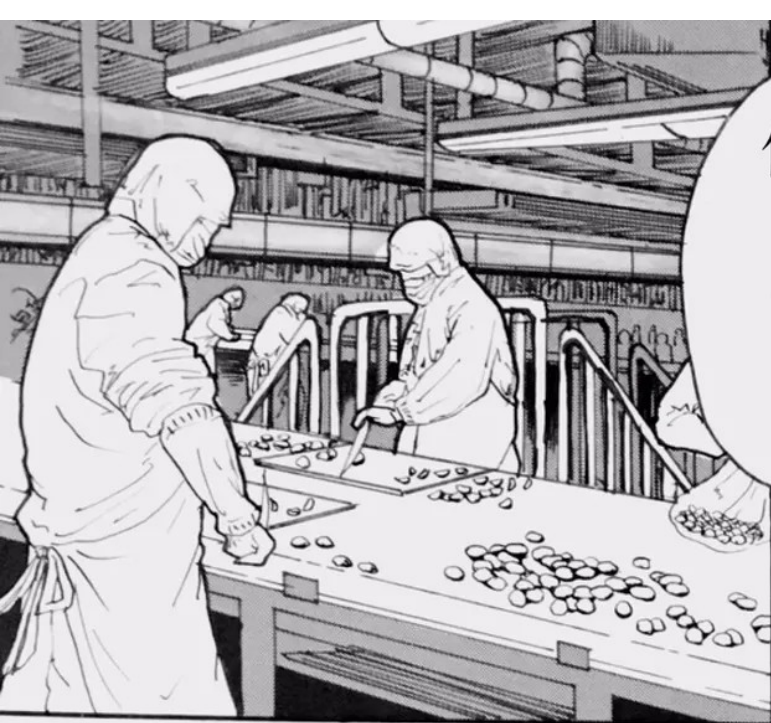


ングッ…

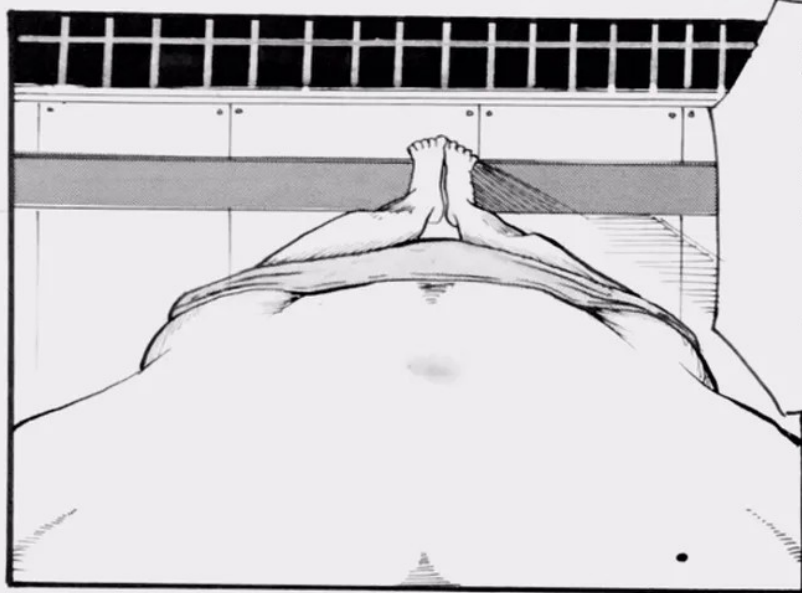
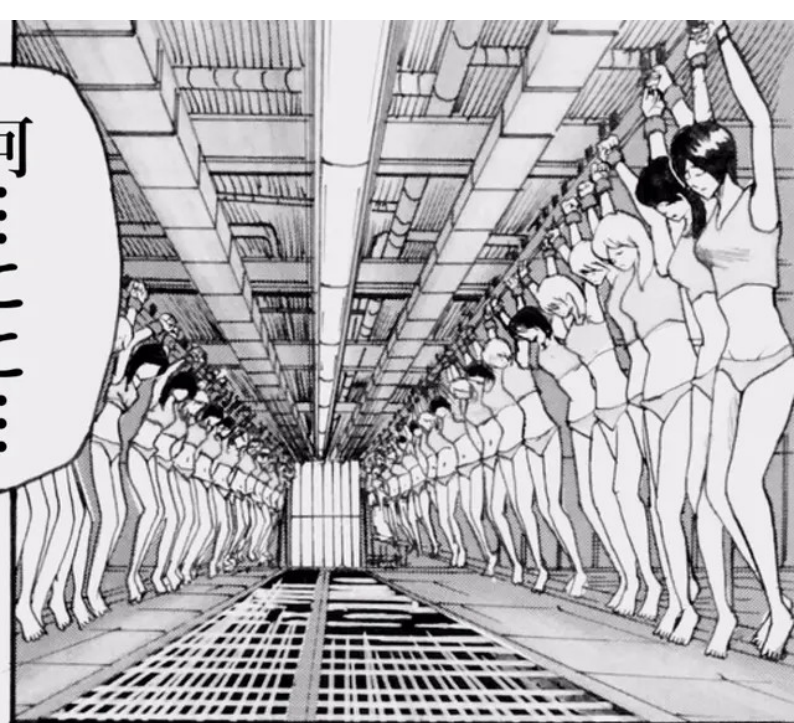


んっ…





何……ここ……



私のおへ……そ……



そ、そうだ！



にしても……



夢じゃなかった……

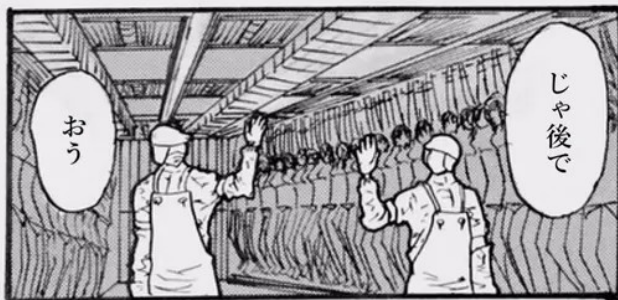


奥の子達には
あるみたい……



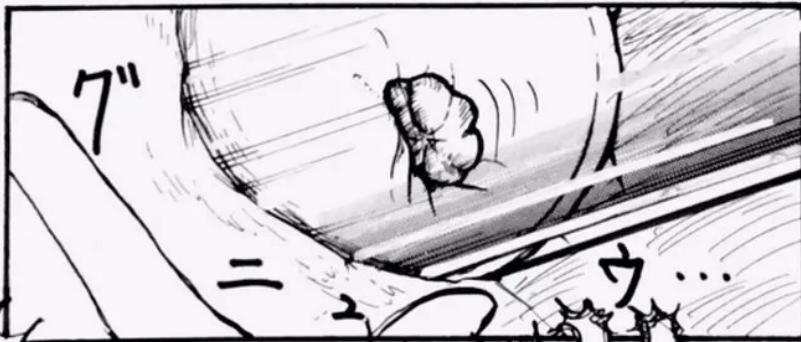
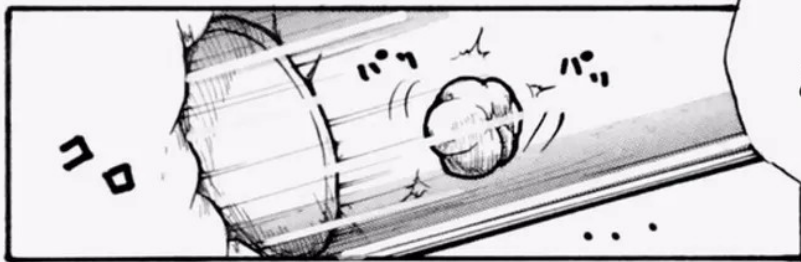
手前の子には
おへそがないけど……

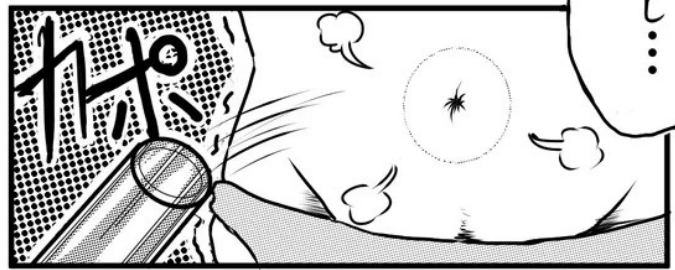
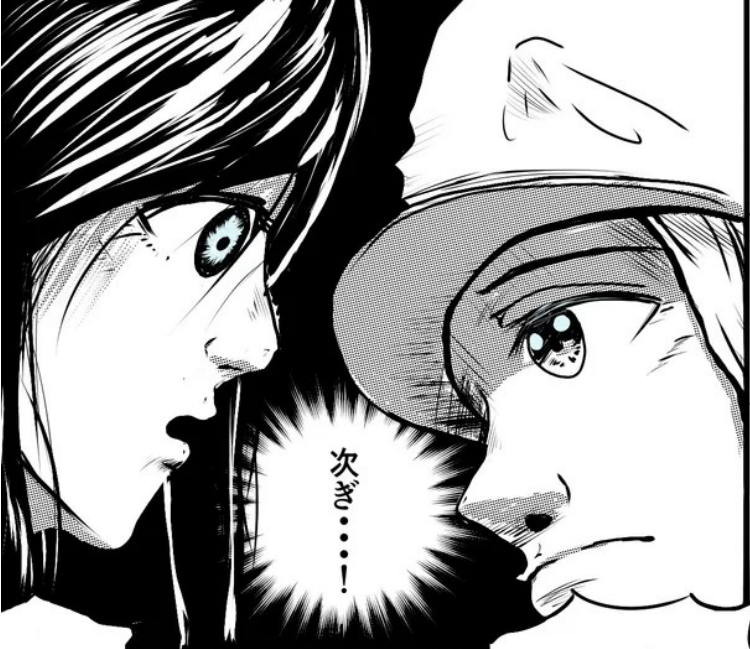
こんなにたくさんの
女の子達……





あ...あ...

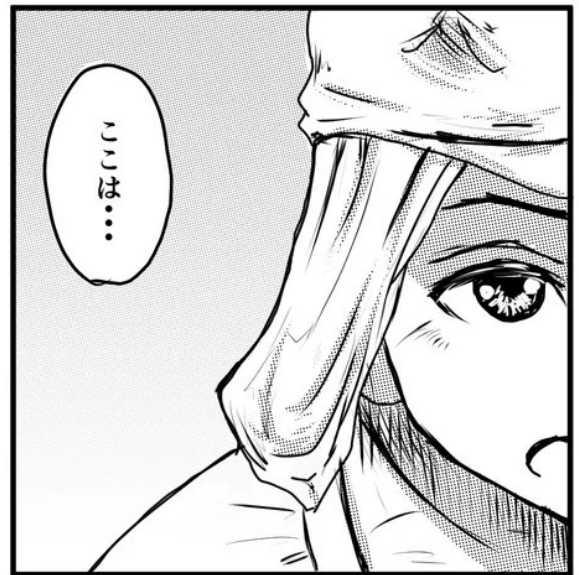
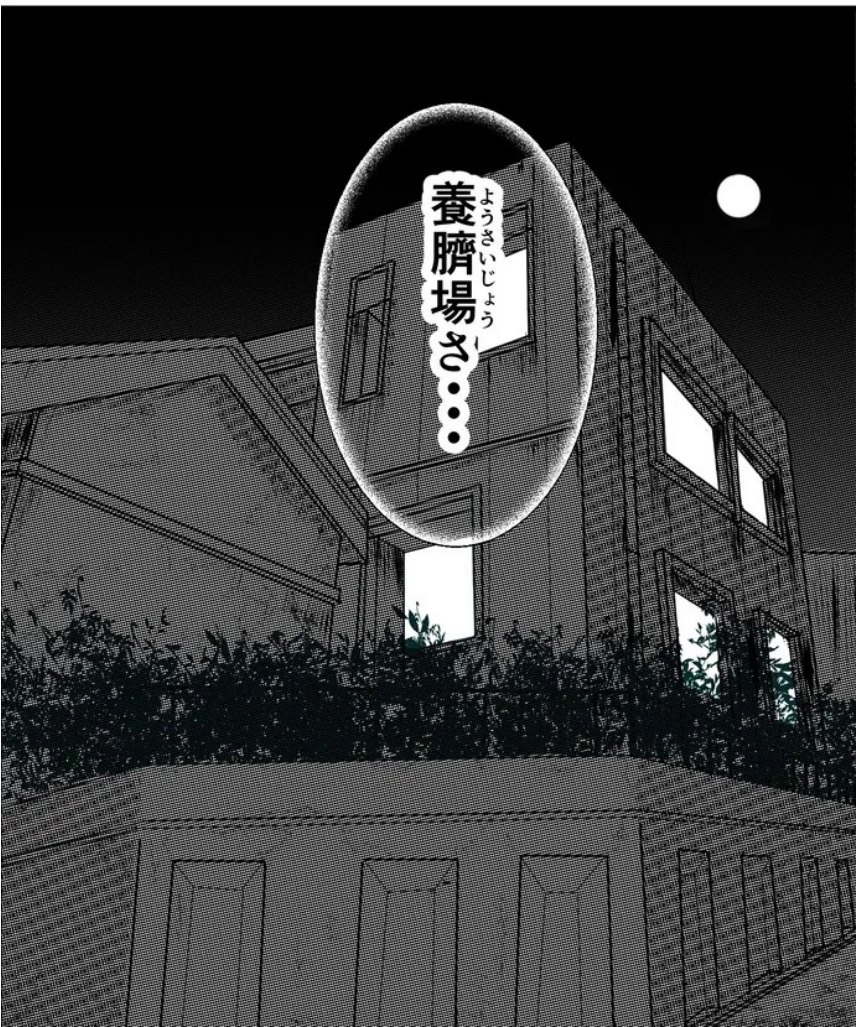
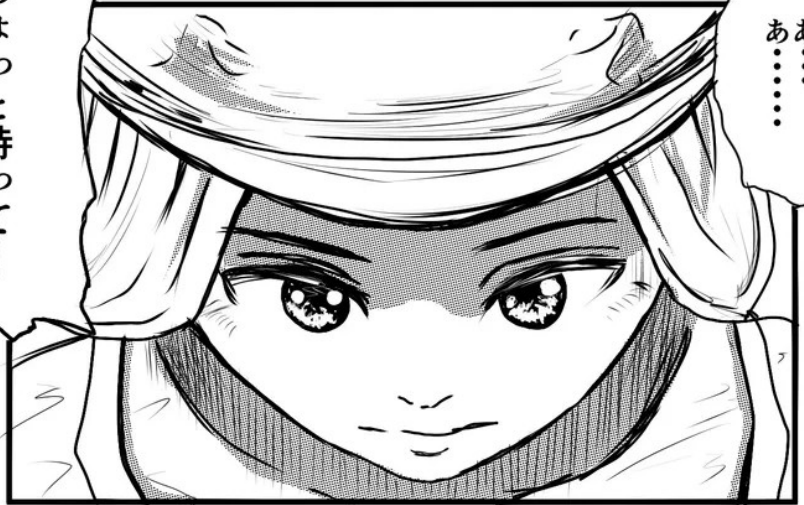




よし……



ちよつと待って!
ここはどこ!?



食用の
へそを養殖して
収穫、出荷までを行う
いわば食臍処理場さ

そう

よ…
よう…さ…
…い…?

この「へそ種」と呼ばれる
こっちの世界の特殊な
植物の種子を
お前の腹に植え付ける…

「へそ」を養殖する…

こいつを
使って…

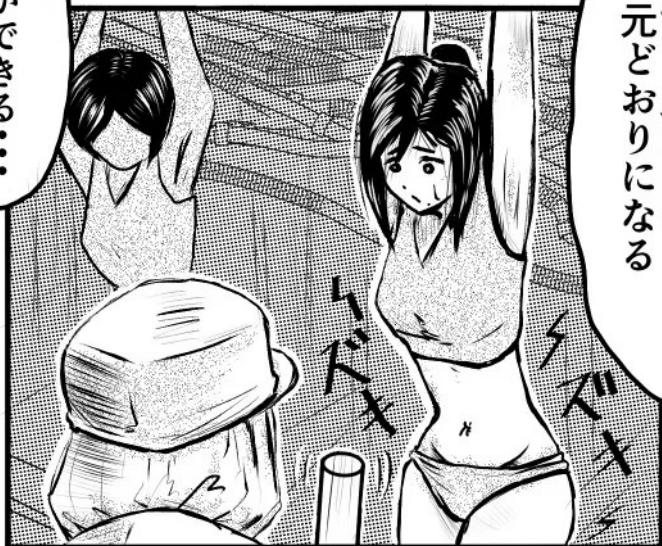
こうして…
電気を与えると
発芽するんだ…

はうっ…

いつ…!!

30

へそができる……



あとはほっとけば
すぐ見た目は
元どおりになる

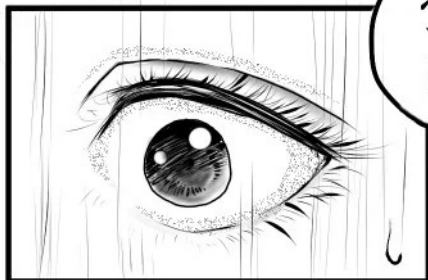


これでよし……

元に戻り次第……
ああなる



ちなみに……

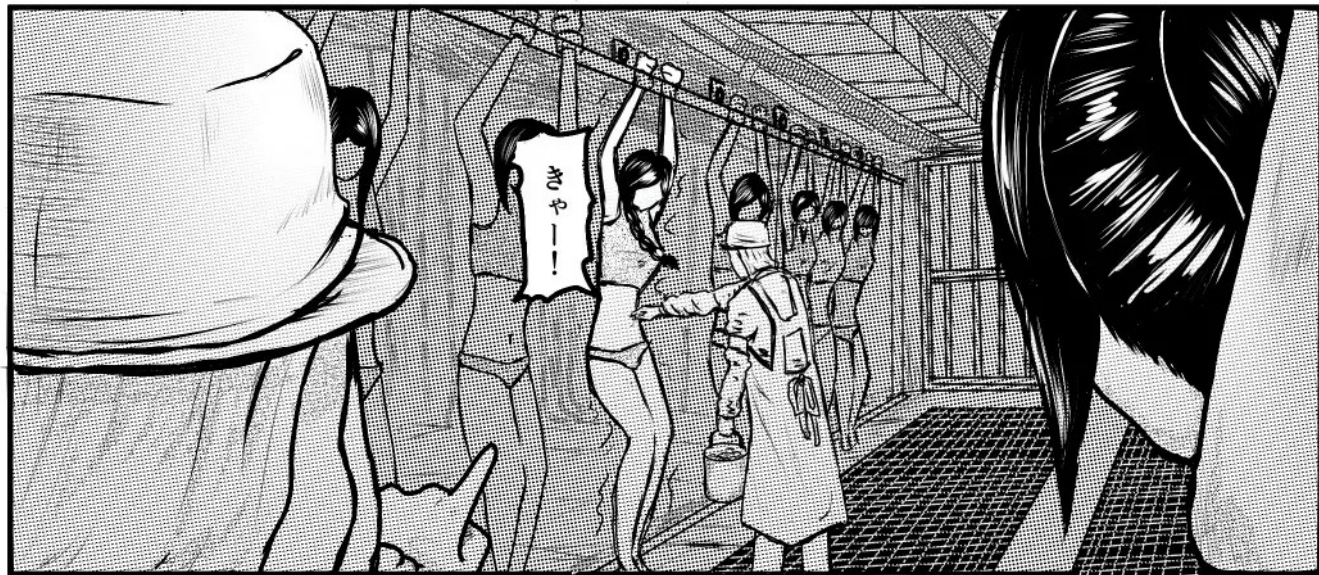


えっ……

ああ……



おへそ
元に戻るの!?

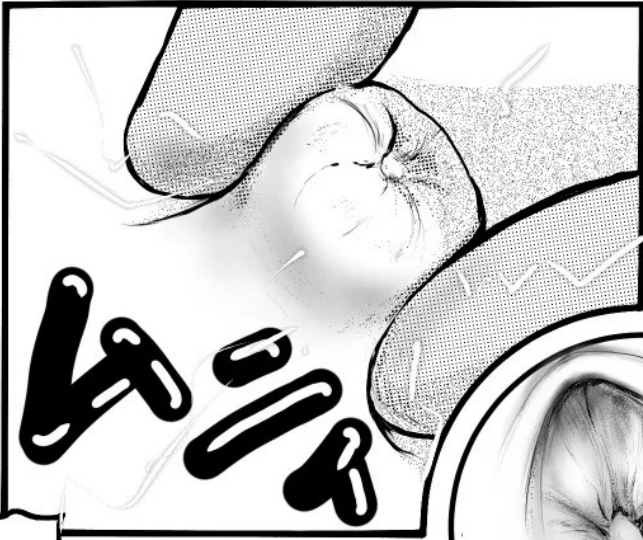


うっ……んん……
あっ……ふう……



ああやって
収穫しては……

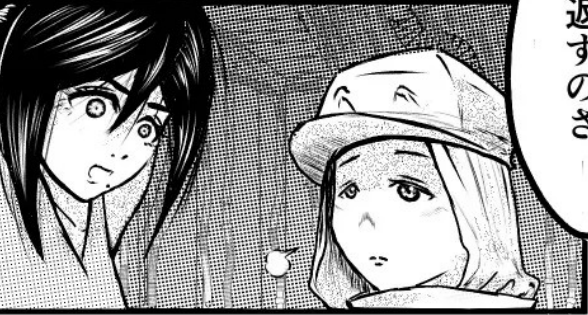
また植えつけてを
くり返すのさ



あっ



うそ……



私……
いつ帰れるの……



ただし…

お、ヤ、ス、ク、
は、え、て、き、た

ずっと取り続けてると
へそも味がだんだん
落ちてくるから…

ググッ…

メリメリ…

再生するのに三日
かかるようになったら
終わりだな…
帰してやるよ…

それまでは
上質なお前の
へそ…

たっぷり
収穫させてもらう
からな…

それから

毎日何度も
おへそを収穫
されては…

また植え付けられ…
取られては…

植えつけられ…
どれくらい
続いたのだろう…

ホイ

ガミヤ
ガミヤ
ガミヤ
ガミヤ

そして
ある日…

その日は
やってきた

んー…

カツ

このへそは…
もう四日目か…

うん…
「打止め」…だな

コッ
コッ

おい

あんたの役目は
終わりだ

帰りな



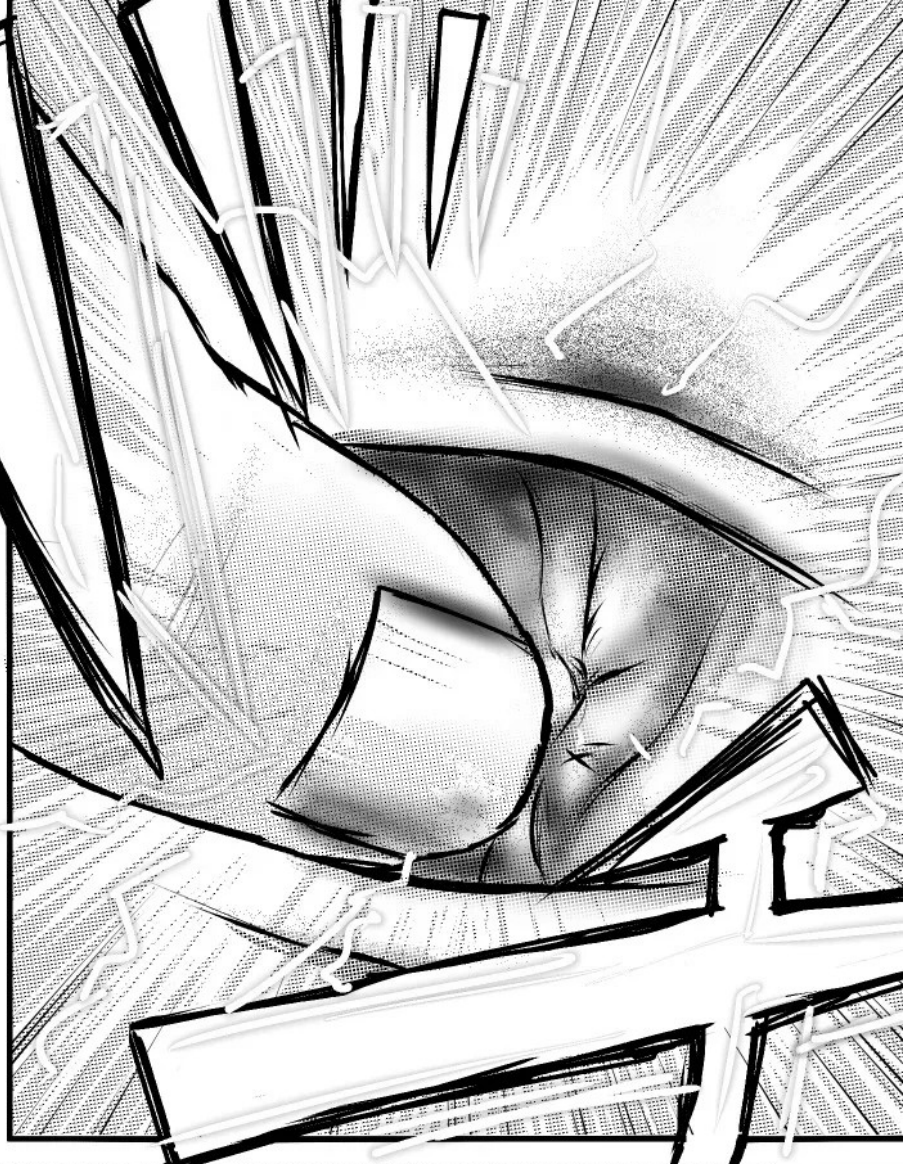
久々に
自分で触ってみな
へそ



もう完全に
再生してるし



いっ………!!



ははは

きゆう……

ビリ

ビリ

でも日常生活には
大して支障は
ないさ……

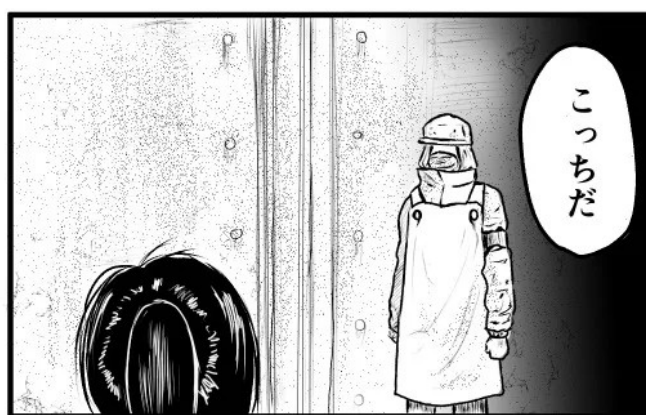
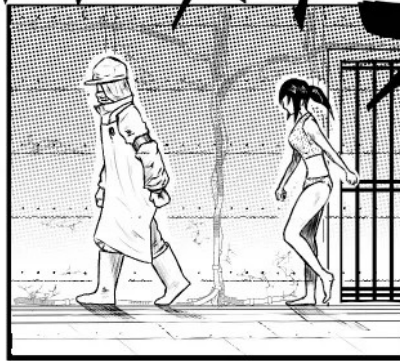
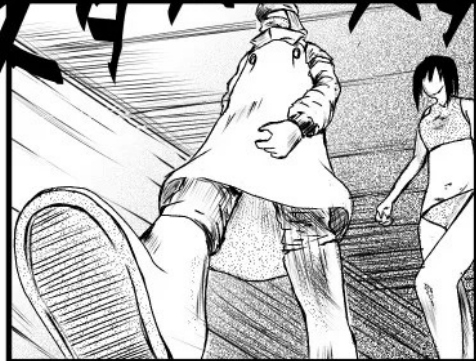
多分………な……

パチ……

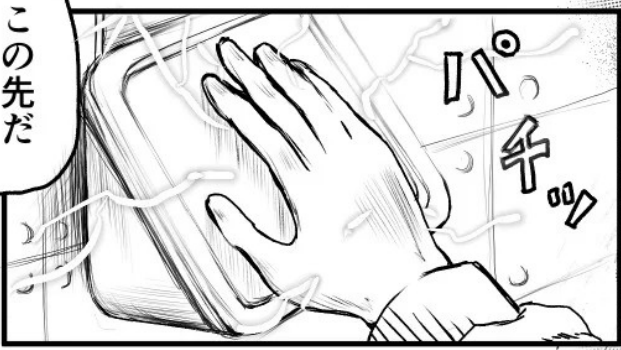
パチ……

毎日何時間も電気
浴び続けてたからな
少しばかり
溜まってるかもしれん

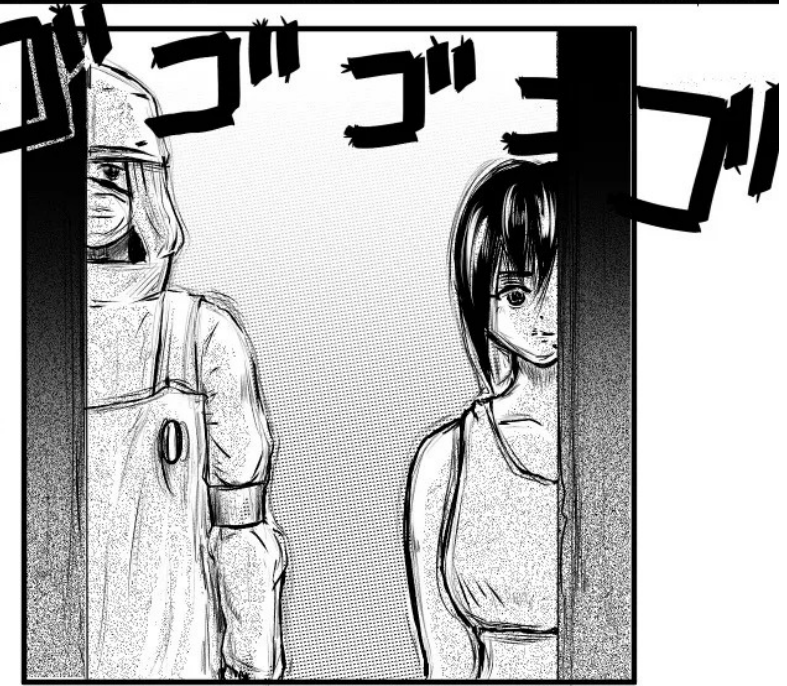
+



この先だ



.....





地下だ……

カッ

カッ

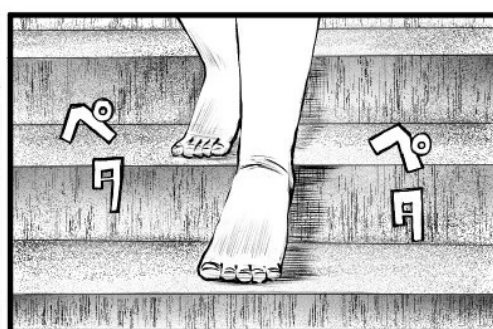
カッ



ち……



どこまで
降りるんだろう……



カッ

カッ

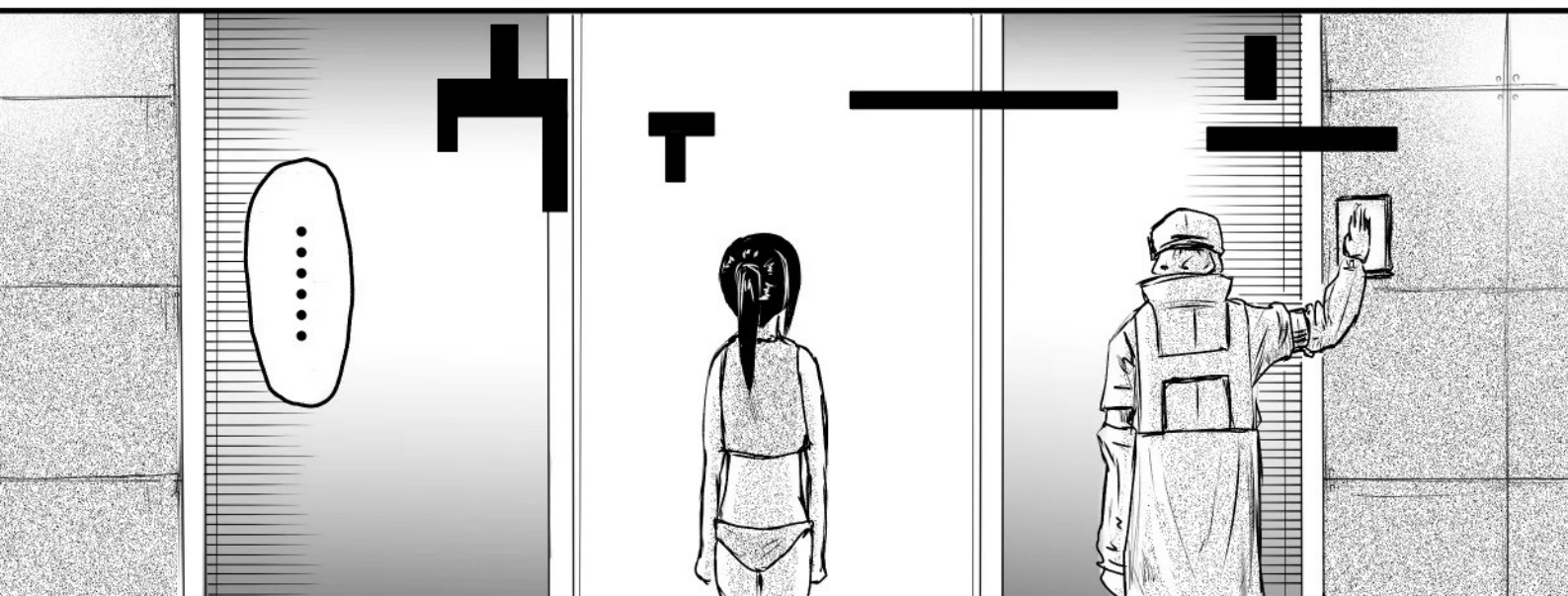
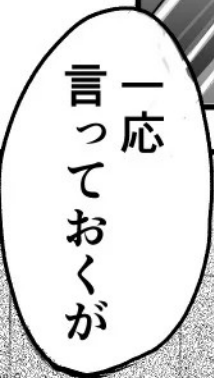
ペ

カッ

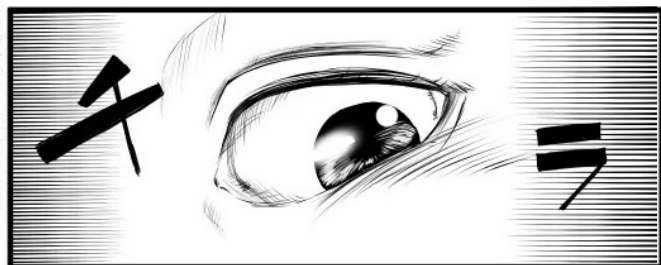
ペ

ペ

ペ



たとえば...



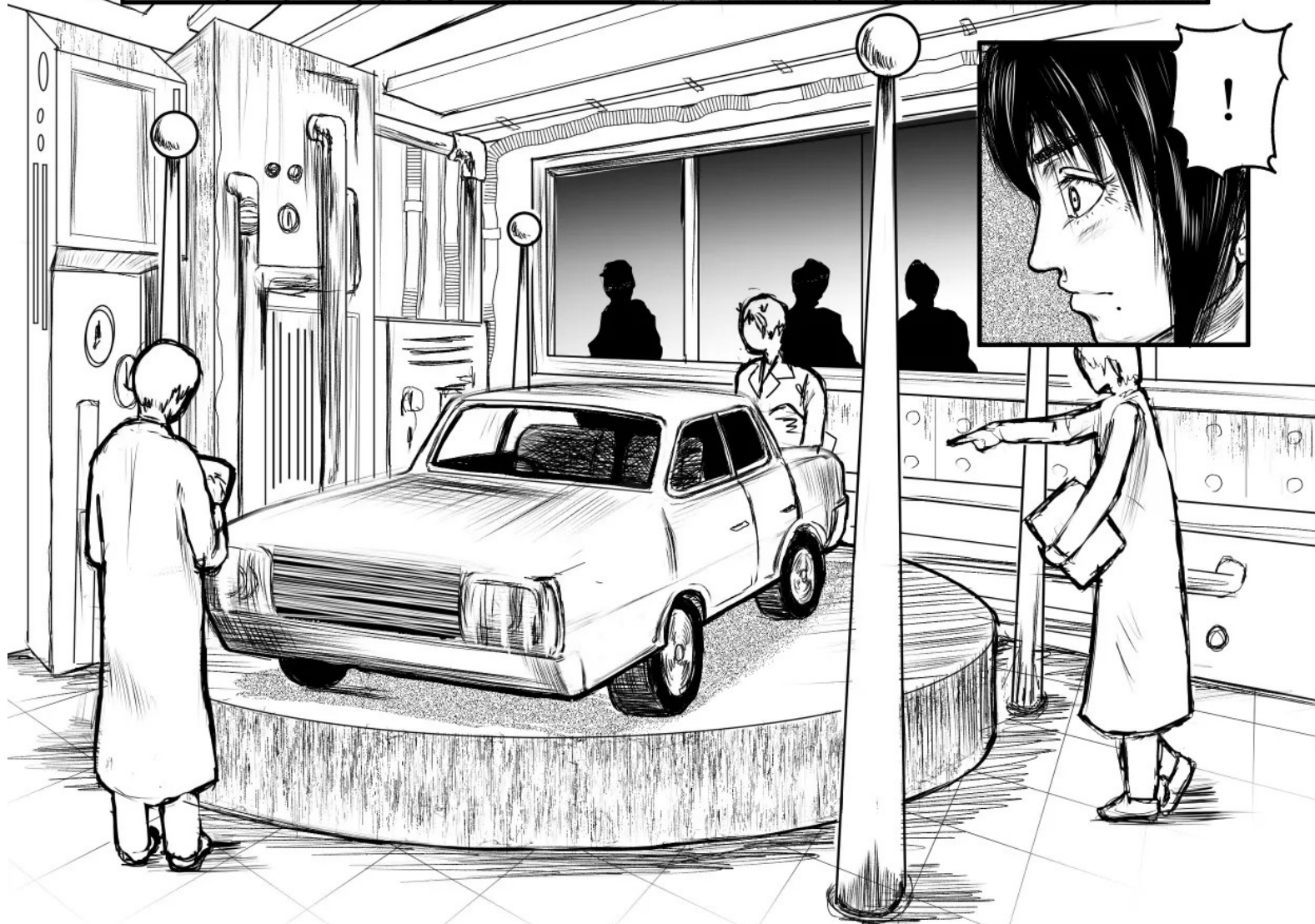
食用として
適さなくなった
へそでも...

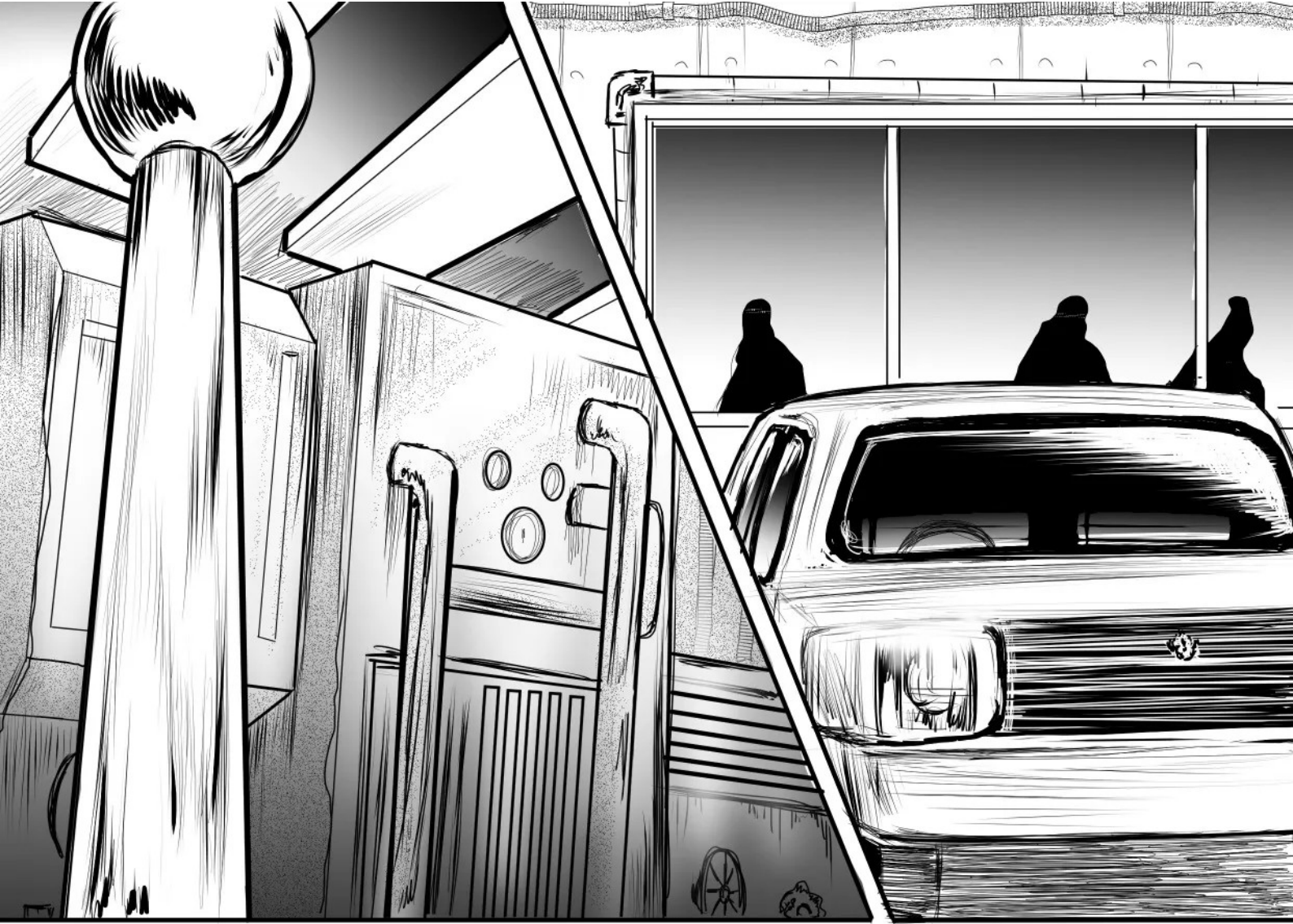
薬や
発酵食品
干物なんかしたら
問題なく使えるん
だよなあ...

さ、
行くぞ



!





あれに
乗って帰る

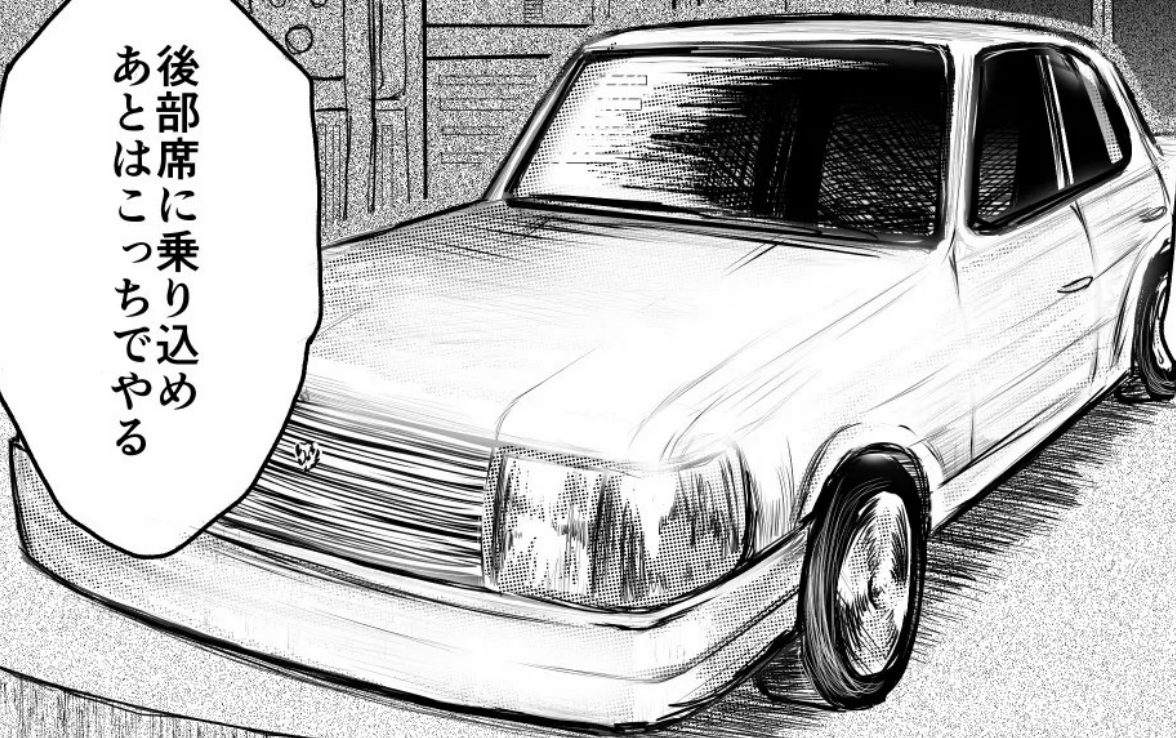


あれだ



こちらの世界と
人間界をつなぐ
唯一の交信機だ……

後部席に乗り込め
あとはこっちでやる



上がりな



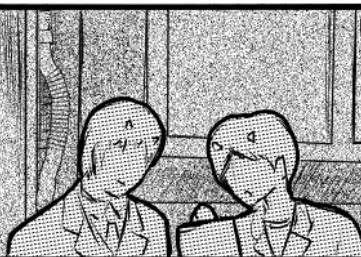
今まで助かった
ありがとうな



この世界では
お前らの『へそ』って
のは物によって
主食でもあり
高級食材でもある

ところが最近
人間たちは
ジャンクフード
ばかり食べて
美味いへそが
育たず食糧難に
陥りそうだ

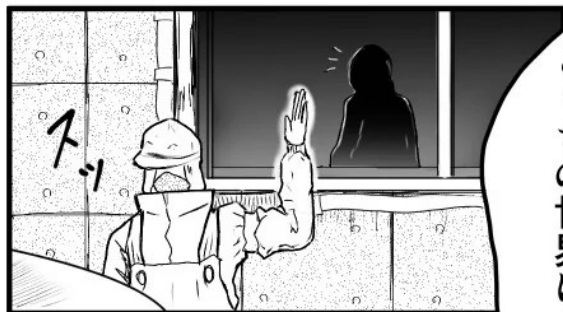
お前みたい
健康的で美味
いへそを持
った人間が
本当に減っ
てしまった
よ……



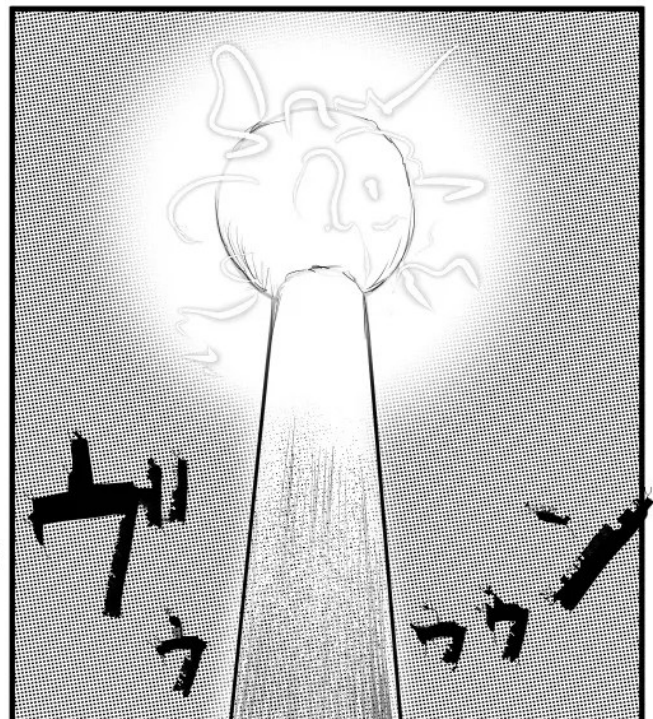
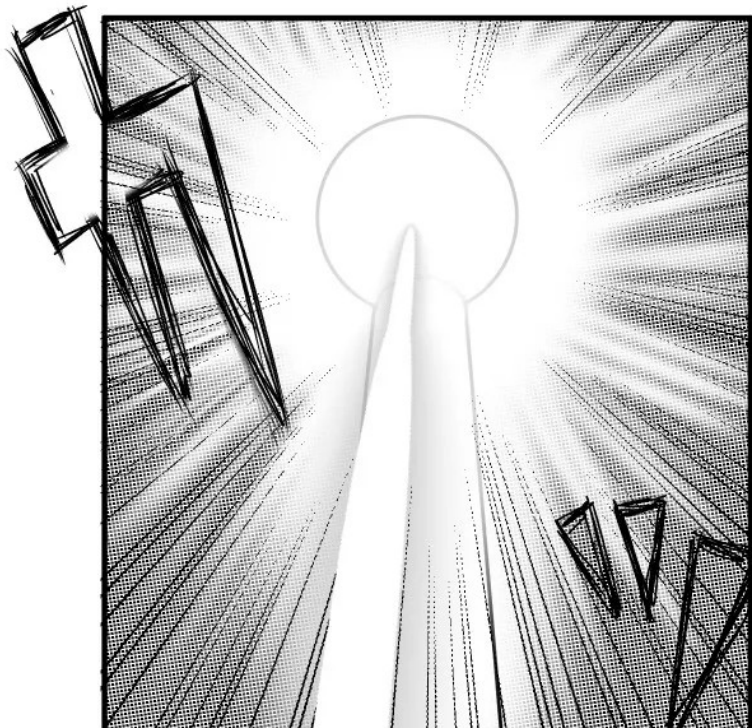
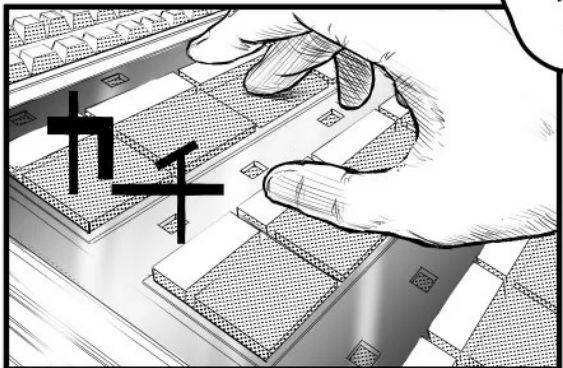
さ、
早く乗りな

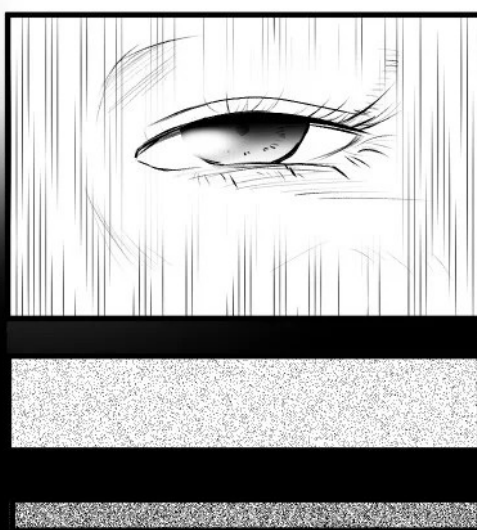
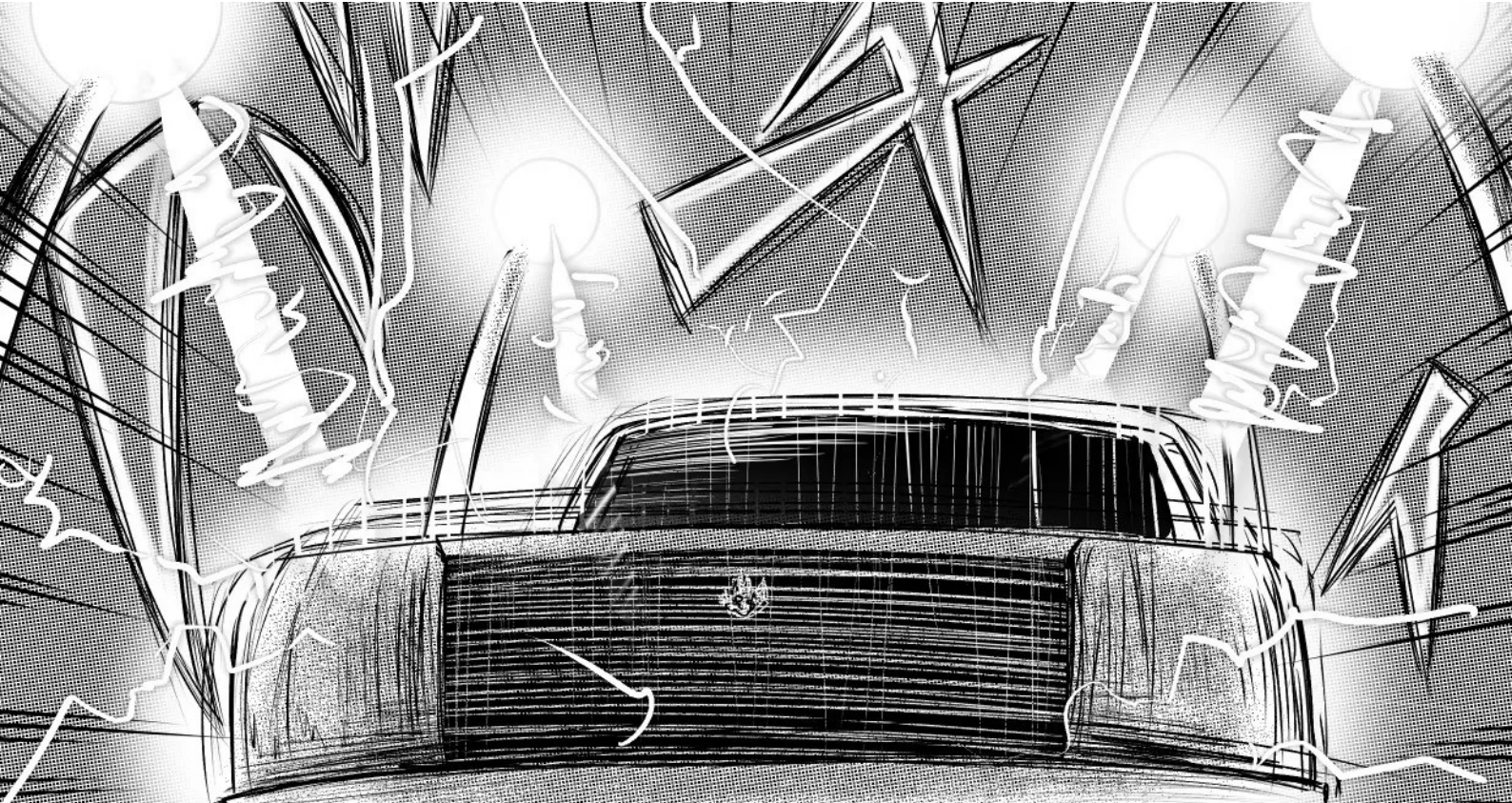
ちよ……

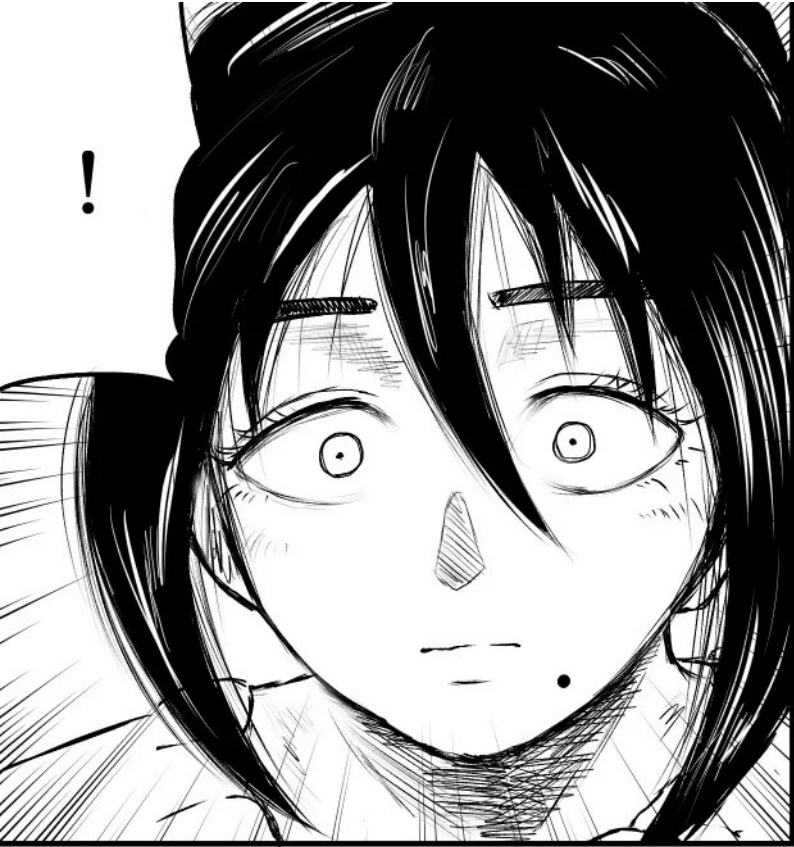




へそがしっかり
座ってくれば
また読んでやるよ
こっちの世界にな...



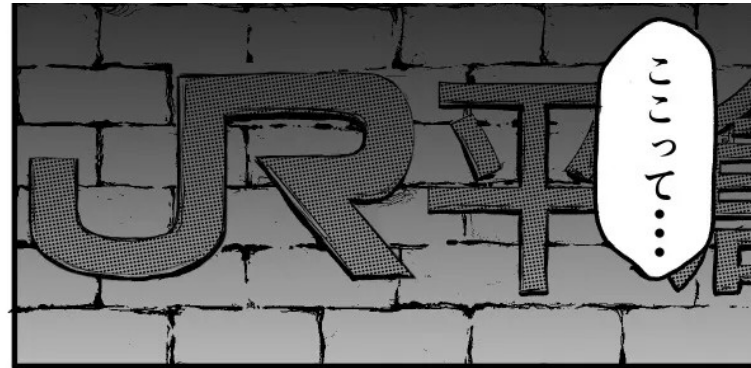




いゝゝゝ

お客さん





ここって……



学校の
最寄り……？



遅くまで大変ですね……

あっ
はい……

料金は……



そうだった……
レポートに
手間取って……

チャリン

最終の
バス
逃しちゃったん
だっけ……

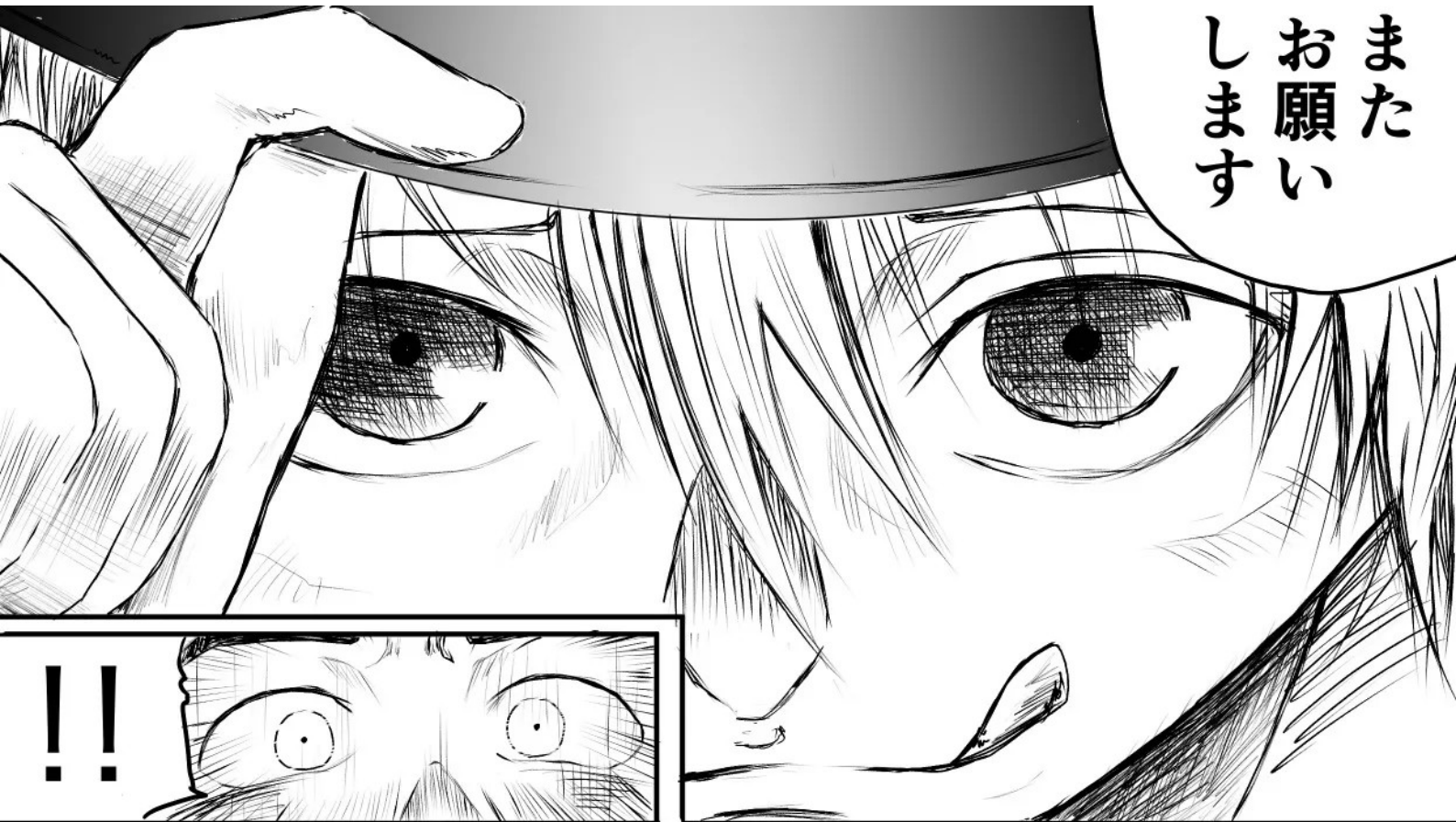


それじゃあ
今までの夢……
って事だよね……？



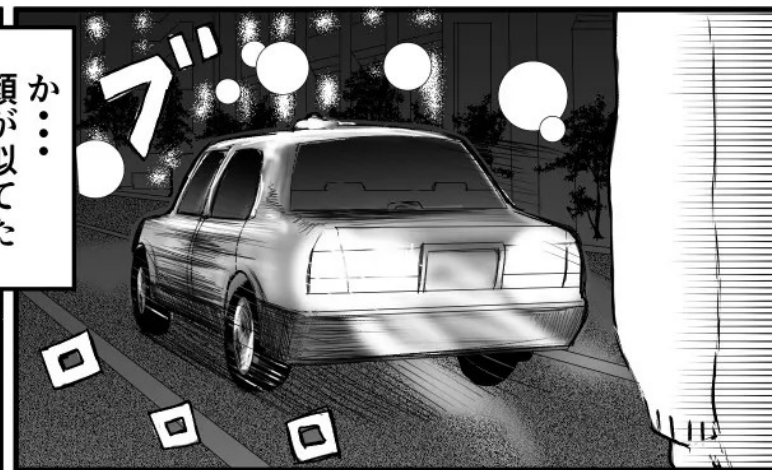
どうもありがとう
ございました……

また
お願い
します

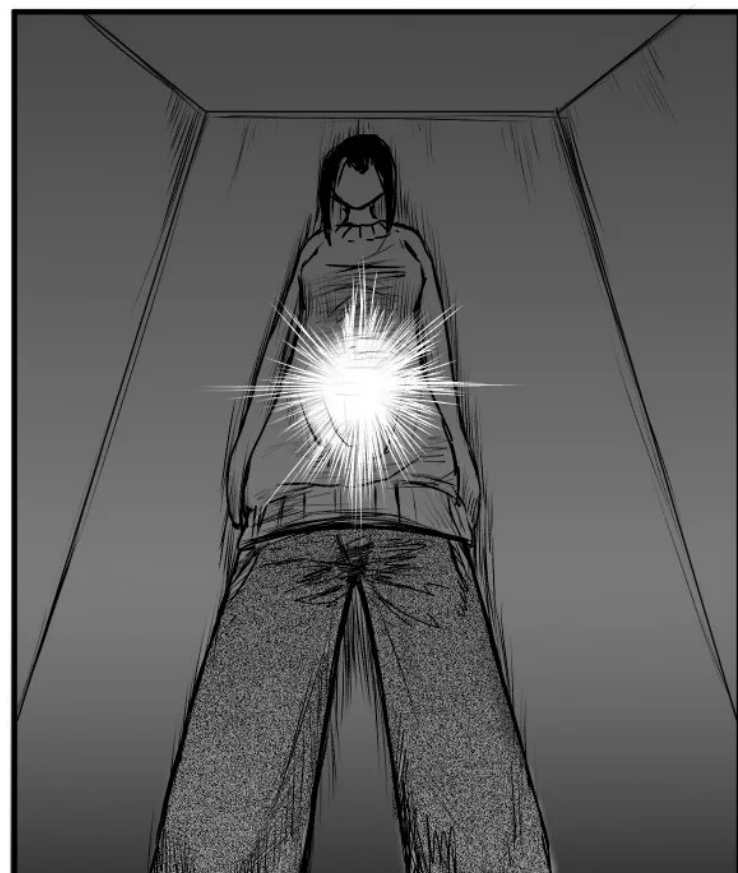
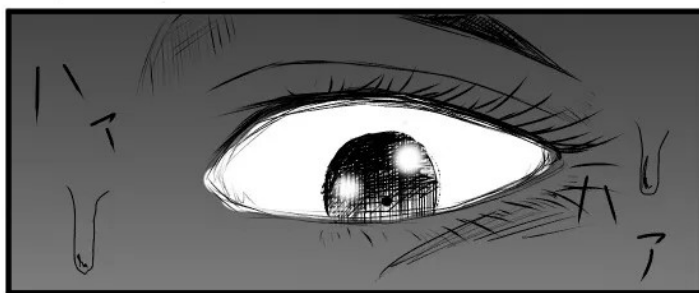


気のせい……
だよな……?

か……
顔が似てた
ような……



とっ……
とにかくここじゃ
服もまくれないし



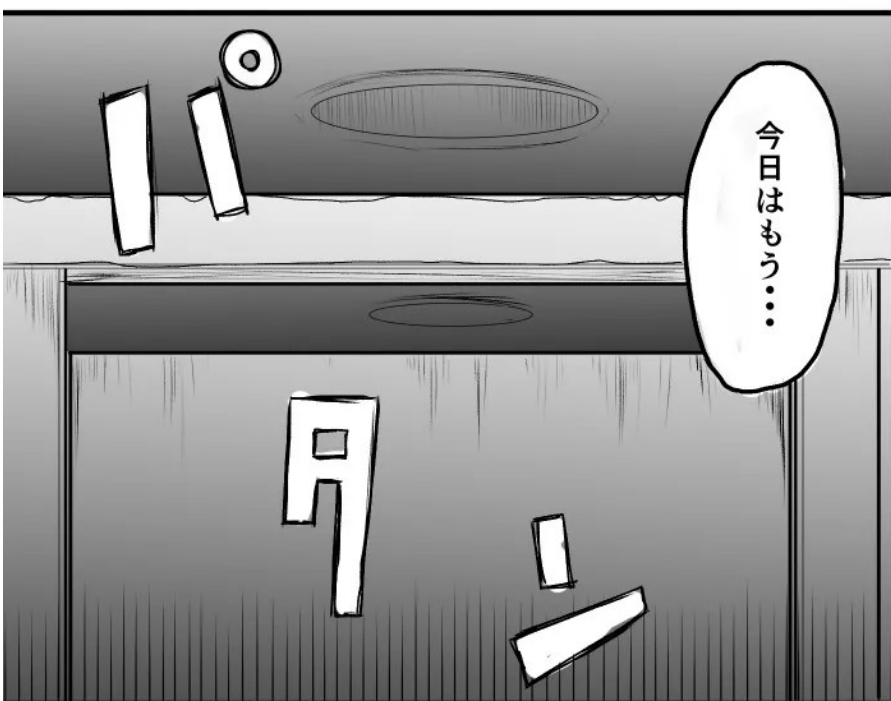
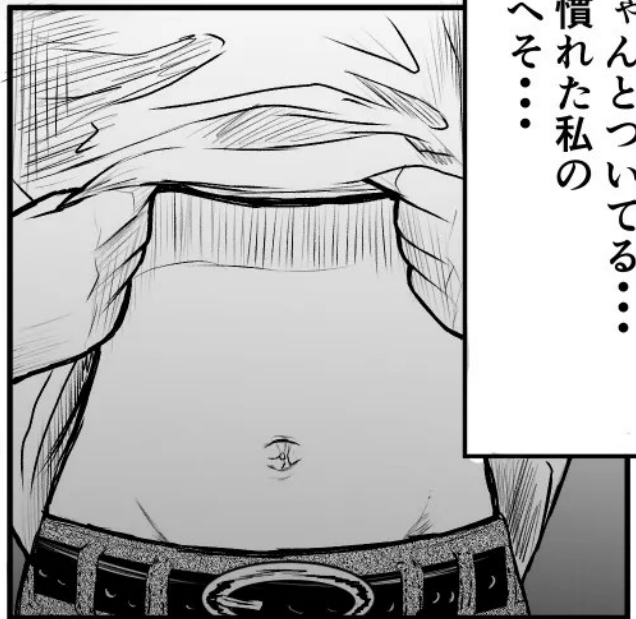


よかった
ちゃんといってる…
見慣れた私の
おへそ…



あの日から
全く
進んでない…

0133
5月26日(日曜日)



今日はもう…



夢だった
ことにしよう…

早く帰ろう…

ポツ

ポツ

ポツ

ガッ

